



下を向いて探そう 道ばたに咲く花

買い物の途中で足をとめて道ばたを見ると、小さな花が咲いているのに気づきます。さらによく見ると、きれいな色や可愛い形をしています。花屋さんや庭の花とは違う、可憐でたくましい花たちです。暑くなる前に、ちょっと下を向いて探してみませんか。



キキョウソウ
段々になって咲くので
ダンダンキキョウともいう。



マツバウンラン

←きれいだからと庭に植えてはいけません。繁殖力が強いのでどんどん増えます。



ニワゼキショウ
5ミリくらいの花。



ヒルガオ
万葉集の時代から親しまれている。



ハルジオン(春紫苑)
蕾は垂れ下がっている。
ピンク色が多い。
葉が茎を抱くようについている。

ハルはジオン
ヒメはジョオン
ややこしい。



ヒメジョオン(姫女苑)
蕾はやや上向き。
葉は茎にまっすぐつく。



ナガミノヒナゲシ
可愛いが、庭に生えたら早めに駆除する。
かぶれるので素手で触らない。



アリアケスミレ
有明の空のように色に変化する。



セイウタンポポ
茎に花は1つ。



雑種タンポポ
ニホンタンポポの白が混ざっている。



ブタナ
茎が2つに分かれて、花が2、3個ついている。



塀の隙間に咲く
オッチチカバナミ
茎が太くて立ち上がる。



コメツブウマゴヤシ
実が米粒のように見え
馬などの肥料として使われていた。



ハハコグサ
春の七草では「御形(ごぎょうまたはおぎょう)」と呼ぶ。



オニタビラコ
立ちあがっている。



コオニタビラコ
地をはっている。春の七草の「ホトケノザ」だった花。今は別の植物に代用されている。

名前に「オニ」がつく植物は大きくて荒々しくて強そうという意味がありますが、タビラコは大きいのと小さいのを分けるためにつけられたとか。ちょっと気の毒。



オニノゲシ
葉のふちがのこぎり状で触ると痛い。



テリミノイヌホウズキ
実が紫。似ているワルナスビは実が黄色。どちらもナス科。毒(メラニン)があるのでペットや幼児が口に入れないように気を付けて。



「雑草」も名前や特徴を知ると、次に出会った時にはただの「雑草」ではなくなります。「雑草」は道ばたや植え込み、花壇など、手入れをしていない場所が「宝庫」です。繁殖力の強いものが多く、持ち帰ったりしないでその場で見て楽しみましょう。

カメラ: IPhone
参照: Google photo およびインターネット
撮影時期: 2023年4月~5月
撮影場所: 長久手市内